

自衛官(左)の号令で整列する都立田無高校の生徒(七月二十八日午後五時過ぎ、陸上自衛隊朝霞駐屯地(ねりま平和委員会提供))



# “国防軍”への地ならし進む教育現場

☆防災に名を借りて都立高校が自衛隊朝霞駐屯地で訓練

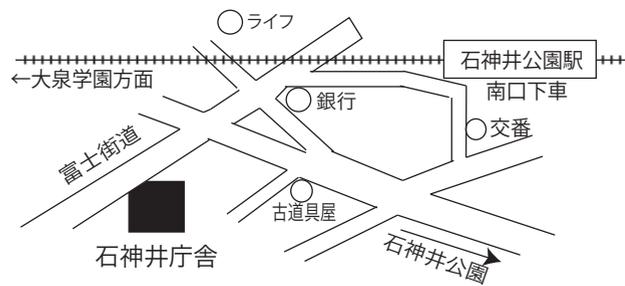
☆銃剣道競技が国体に登場、谷原体育館が会場に

講師 中川信明 (東京国体・銃剣道問題を考える会)

坂本 茂 (練馬平和委員会)

9月25日(水) 午後6時半～8時半

練馬石神井庁舎5階会議室 参加費 300円



自民党の憲法改正草案では“国防軍”の創設をうたっていますが、東京の教育現場で早くもその地ならし作業が進んでいるのをご存知ですか？

1つは9月に東京で行なわれる国体に「銃剣道」が登場することです。信じられないことですが、「柔道」ではなく「銃道」が登場するのです。まさに“人殺し”が競技として競われるのです。会場になるのが、練馬の谷原体育館です。

テレビなどに自衛隊が大手を振って登場していますが、教育現場でも“国防軍”への地ならしが始まっているのです。

もう1つは、防災訓練に名を借りて都立高校が自衛隊朝霞基地で訓練が実施されました。

防災という美名のもとに、“軍隊と教育の一体化”が進められているのです。

憲法9条の改悪は我々の想像をはるかに超えて進められているのです。講演ではテレビ映像を駆使して分かりやすく説明・報告が行なわれます。

連絡先：森田彦一 (3951) 4276